

栃の木からの手紙

2017年 9月号



7/23日大暑を過ぎて成長著しい雑草達は、8/7日立秋を迎え生殖成長に変わり始める。8/23日処暑、季節の移ろいに反応する雑草達の生命力。美幌祭りを過ぎて白露の頃には、種の入った穂を重たげに垂れる雑草。私が気にする24節季を目安とした雑草の成長。

そこに居る、在るという事。必要だからこそ存在する。収穫を迎える自然農法の芋畑。8/7、23日に雑草と芋の茎葉を刈り払いましたが…、雑草の絨毯…。収穫直前にもう一度、雑草処理を行います。

9月 長月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

6日： 満月 :旧 7月16日

7日： 白露

20日： 新月 :旧 8月 1日

23日： 秋分の日

10月28日 自然農法芋の試食体験

場所 報徳つどうむ会館

時間 11時から

各自で、5種類の自然農法の芋を調理して試食します。

今年は、夏休み子どもキャンプへの収穫体験活動の協力は相手の都合で出来ませんでしたので、独自にキャンプの終了日時に合わせて、8月6日13時から

「自然農法芋収穫体験 ～ひまわりの癒し～」

を実施しました。子どもキャンプ参加者の親子40名には、収穫体験の案内書をキャンプが始まる時に配布しましたが、当日の参加者はゼロでした。でも数名の会員の方々が時間をずらして雑草畑、ひまわりに会いに来てくれました。このひまわりはこの日の夕方、畑にすき込まれて畑の為、次世代の作物の為の糧になりました。

10月28日には自然農法芋の試食体験を行います。

翌8月7日は24節季の立秋。5種類の芋畑は、「さやあかね芋」以外はすべて疫病で枯れていた為、茎葉処理を行いました（左写真）。

「さやあかね」は、23日に茎葉処理を行いました。明らかに品種の違いによる疫病に対する強さを見せてもらいました。

今年は、正常な一般の芋でも生育が終わり黄変するのが早くなっています。

